

第1回男女共同参画を考える腎セミナーin九州

日時：平成24年4月7日（土） 17:45～20:00

場所：タカクラホテル福岡 8F「真珠の間」

福岡県福岡市中央区渡辺通2-7-21 TEL 092-731-1661

総合司会：松下会あけぼのクリニック 副院長

田中元子 先生

オープニングレクチャー

座長：松下会あけぼのクリニック 副院長

田中元子 先生

腎性貧血に対するミルセラの有用性

九州大学大学院包括的腎不全治療学 准教授

鶴屋和彦 先生

特別講演1

座長：熊本大学大学院生命科学研究部 腎臓内科学教授

富田公夫 先生

地域で広げる腎臓医キャリア形成支援へのエール

公益財団法人 田附興風会医学研究所 北野病院腎臓内科部長

武曾恵理 先生

特別講演2

座長：国立病院機構福岡東医療センター内科部長

片渕律子 先生

水電解質・酸塩基平衡異常-症例を通して理解を深める

聖マリアンナ医科大学 腎臓・高血圧内科准教授

安田 隆 先生

特別講演3

座長：福岡赤十字病院 副院長

平方秀樹 先生

研究と臨床と教育とそして家庭と

東京女子医科大学 腎臓内科准教授

内田啓子 先生

Closing Remarks：福岡大学医学部 腎臓・膠原病内科 主任教授

斉藤喬雄 先生

尚、会終了後、情報交換会を予定しております

共催：日本腎臓学会男女共同参画委員会

中外製薬株式会社

演者紹介

オープニングレクチャー

九州大学大学院包括的腎不全治療学 准教授

鶴屋 和彦 先生



H.2年3月 九州大学医学部卒業
H.4年6月～H.10年5月 松山赤十字病院腎臓内科・医師
H.11年4月～H.15年3月 九州大学大学院病態機能内科学・大学院生
H.15年10月～H.18年4月 九州大学大学院病態機能内科学・助手
H.18年5月～H.22年3月 九州大学大学院包括的腎不全治療学・客員准教授
H.23年4月～ 九州大学大学院包括的腎不全治療学・准教授

「腎性貧血に対するミルセラの有用性」

ミルセラは、エポエチンβにPEGを結合させることにより血中半減期を約7倍延長させた長時間持続型のESAで、腎性貧血の治療において従来のESAより投与頻度を減らすことができ、4週に1回の投与で目標Hb値を安定して維持できることが示されている。また、従来のESA治療では回避できなかった透析導入時の貧血増悪も予防可能であることが報告されている。ESAの投与頻度が大幅に減少できれば、保存期慢性腎臓病患者や腹膜透析患者では通院負担が軽減し、血液透析患者においては医療過誤や感染リスクが低減することから、患者やスタッフのQOL向上や医療コストの削減がもたらされ、安全で質の高い医療の提供が期待できる。

特別講演 1

公益財団法人 田附興風会医学研究所 北野病院腎臓内科部長

武曾 恵理 先生



公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院腎臓内科部長、同研究所副所長
京都大学医学部臨床教授
上海復旦大学医学部客員教授
日本腎臓学会理事
1976年 京都府立医科大学卒業
1980年 京都大学医学部第三内科医員
1984年 フランス国立科学研究所(CNRS)研究委員
1986年 京都大学医学部第三内科助手
1992年 京都大学医学部第三内科・後循環病態学講師
2001年 公益財団法人 田附興風会医学研究所 北野病院腎臓内科部長

「地域で広げる腎臓医キャリア形成支援へのエール」

日本腎臓学会が先頭を切ってすすめている男女共同参画活動は、異なった地域、性、立場の方々の参加により、すべての腎臓学を専攻する先生方の自己実現をめざして、たゆまぬ進捗がなされてきた。この間、我が国全体の医師支援の必要性が認識されるようになり、医療機関、大学でも様々な施策が試みられてきた。必要性はみな認識しているものの、その実現には個別の状況があり、ひとくくりにはできない問題も多い。時にはトップダウンの決断を引き出すことも重要なが、草の根からの事例の発掘や、意見の集約は必須である。地域ごとの盛り上がりを促す今回の試みは、まさに当を得たもので、活動のステップアップの予感が高い。これまでの腎臓学会および所属施設での様々な取り組みのレジュメとその際の考え方のエッセンスを提示して、これからの皆さまの展開に期待を寄せたい。

演者紹介

特別講演2

聖マリアンナ医科大学 腎臓・高血圧内科 准教授

安田 隆 先生



1983年 聖マリアンナ医科大学卒業
1989年 聖マリアンナ医科大学大学院卒業
東京農工大学農学部生物化学研究室研究員
1992年 米国バンダービルト大学腎臓内科
1994年 聖マリアンナ医科大学第一内科助手
2001年 聖マリアンナ医科大学教育改革推進室講師
2003年～聖マリアンナ医科大学内科（腎臓・高血圧内科）
主な著書：レジデントのための腎臓病診療マニュアル2版
主なDVD：ケアネットDr. 安田のクリアカット腎臓学

「水電解質・酸塩基平衡異常一症例を通して理解を深める」

腎臓に関連する疾患は非常に幅が広いので、興味を持った分野について男性医師そして女性医師ともに、長きにわたって楽しみながら診療できます。興味を持つためには臨床の場で応用できるように病態の理解を深めることが特に腎臓分野では大切です。そのために若い医師の方々が易しく理解できる機会を用意しておく必要があります。本講演では、その一環として取り組んでいる、症例を通じて、どのような状況において、どのような考え方をし、種々の計算式をその背景を理解し利用して病態を解明する、という例を示したいと思います。症例を通して身につけた理解は今後の診療の幅を広げます。若い先生方にも大勢参加していただけることを望んでいます

特別講演3

東京女子医科大学 腎臓内科 准教授

内田 啓子 先生



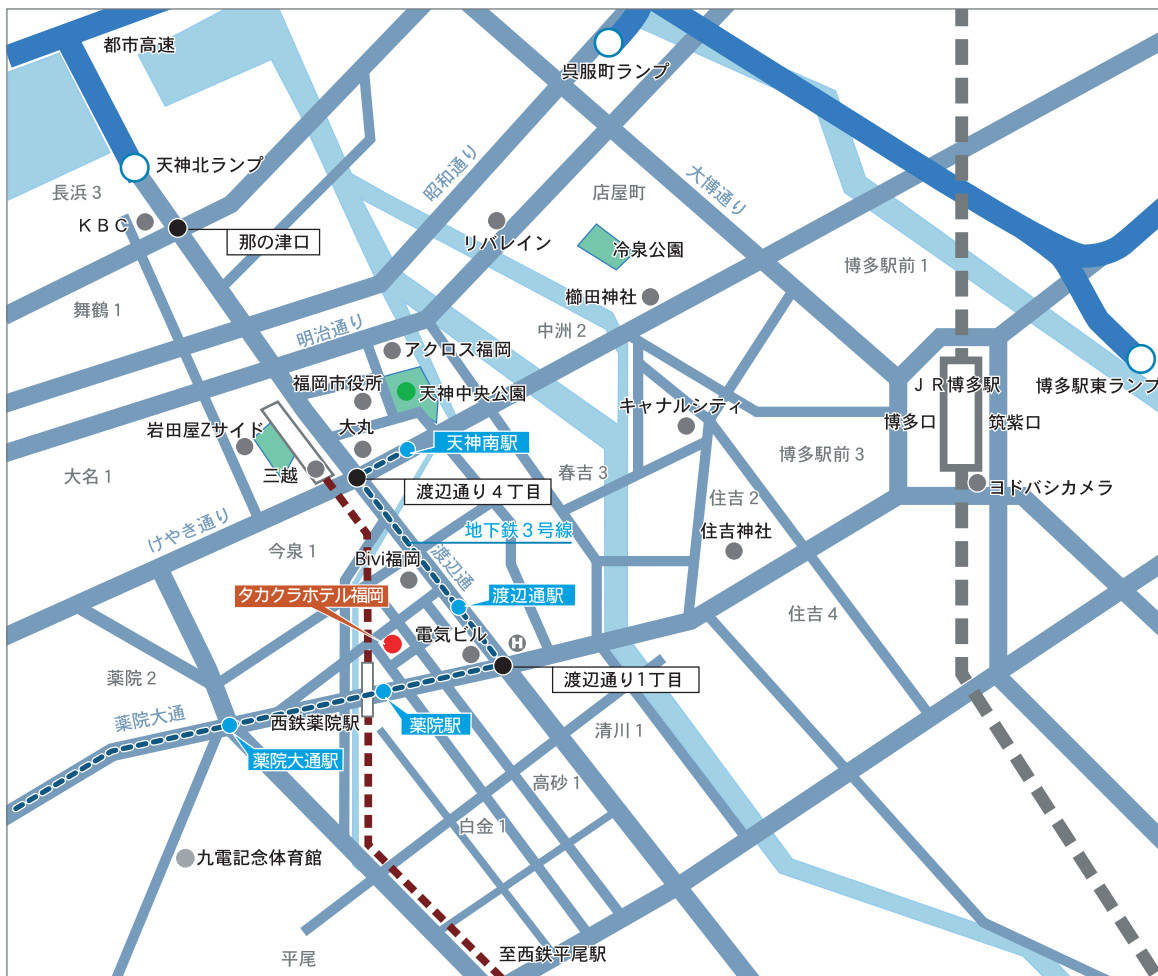
日本腎臓学会男女共同参画委員会委員長
1985年 東京女子医科大学医学部卒業、同腎臓内科入局
1989-1991年 米国ジョンスホプキンス大学留学
1992年 東京女子医科大学腎臓内科助教、医学博士取得
2002-2005年 医局長
2005年 同講師
2008年 同准教授

「研究と臨床と教育とそして家庭と」

私は現在大学の腎臓内科学講座で教育職にありますが、大学に籍をおくということは、すなわち「臨床・研究・教育」の三種の神器すべてをこなすことを意味しています。そこに男女の差はないと思う（信じている）のですが、女性にとって妻という立場に加え母という役割をもつと、急に「臨床・研究・教育+家庭」の四種の神器となり、男女に差が生まれてくるように感じてきました。しかしながら、女子医学生が50%近くに達しようとしている現在、あらゆる教育機関にメンターとなれる女性医師が必要です。私は「糸球体腎炎の発症進展因子の検討」をテーマに細々と仕事をしてきましたが、その研究の一部を紹介するとともに、その継続に影響を与えた出会いや言葉、出来事を通して、若手女性医師へのエール、その周囲の同僚や上司の理解、男女共同で腎臓学を研鑽していく一助になればと考えています。

タカクラホテル福岡・アクセスガイド

Access Guide



周辺詳細ガイド



交通機関ご利用案内

- 徒歩** ■ 天神「福岡三越」「博多大丸」より徒歩5分
- 電車** ■ 西鉄薬院駅北口より右に出て徒歩1分
 ■ 地下鉄3号線薬院駅 1番出口より徒歩2分
 ■ 地下鉄3号線渡辺通駅1番出口より徒歩3分
 地下鉄3号線が2005年2月3日(木)に開通し、大変便利になりました。
- バス** ■ 博多駅前Aバス停より、
 渡辺通経由天神方面行き 渡辺通2丁目バス停下車 徒歩3分
 城南線六本松・薬院駅前バス停下車 徒歩2分
 (2コースとも 運賃:100円)
- 車** ■ 都市高速「天神北ランプ」より南へ約10分
 ■ JR博多駅より約7分
 ■ 福岡空港より 約20分
- 空港から** 「福岡空港駅」から「薬院駅」まで250円
 ※「天神駅」で乗り換え改札口をご利用下さい。
 (乗り換え改札口を出た後の切符の有効時間:120分以内)
1. 空港線「福岡空港駅」より「天神駅」下車(所要時間 約11分)
 2. 乗り換え改札口を出て天神地下街を通る(徒歩 約7分)
 3. 七隈線「天神南駅」より「薬院駅」にて下車(所要時間 約3分)
 4. 地下鉄「薬院駅」1番出口よりタカクラホテル福岡(徒歩約2分)

タカクラホテル福岡

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通2丁目7-2 1
TEL.092-731-1661 FAX.092-731-1669
 URL <http://www.takakura-hotel.co.jp>
 E-mail info@takakura-hotel.co.jp